

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
大原観光外語&ブライダルビューティー専門学校		平成22年4月1日	中本毎彦		〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町2丁目4番26号 (電話) 06-4397-2458		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人大原学園		昭和54年4月1日	理事長 安部辰志		〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10 (電話) 03-3291-0151		
目的	本校は教育基本法および学校教育法にもとづき、マナー指導はもちろん、ウェディングならびにビューティーに関する教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
商業実務	商業実務専門課程		総合ビジネス学科		平成22年文部科学大臣告示第152号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2000	1300	360	1140	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		42人		5人	2人	7人	
学期制度	■1学期: 4月1日～8月31日 ■2学期: 9月1日～12月31日 ■3学期: 1月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学則第18条に従っている。		
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 7月下旬～8月下旬 ■冬季: 12月下旬～1月上旬 ■学年末: 3月31日 校長は、特に必要があると認める場合には、休業日を変更することができる。			卒業・進級条件	学則第19条第1項4号を基礎として従っている。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 卒業・進級条件及び欠席となって事情を考慮して個別指導等を行っている			課外活動	■課外活動の種類 ・運動系クラブ活動 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 就職先: (株)エイチ・ツー・オー (株)ひらまつ (株)プリンスホテル (株)アスク・ビューティー (株)クロスホテルズ (株)ファインスタッフ (株)アンテリーベ・ブルーウェーブ (株) (株)ビー・シー・二十一 (株)ハーベン tranq hair design (株)リトルバンブー・(株)ヘアメイクウィル FAVORIX(株) (株)ヤスエイ 等 業界:等 ■就職率※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 95.2 % ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年3月31日時点の情報)			主な資格・検定等	ABC検定 色彩検定 日本エステティック協会 認定エステティシャン JNE ネイリスト技能検定 JMA メイクアップ技術検定 等		
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成28年4月1日 在学者 42名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 40名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 4.7 %				
	■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良(入院) など						
	■中退防止のための取組 中途退学の兆しとして、欠席・遅刻・早退の増加、授業への集中力の欠如及び検定試験への受験意欲の低下などに現れる。よって、以下の内容を防止策として取り組んでいる。 (1) 欠席等の防止 一定の欠席累計到達者に対する面談による改善指導など (2) 学習に対する意欲低下 目指す職業に就くためへのカリキュラム(検定試験含む)の必要性を説明するガイダンスなどの定期的実施にする。 (3) その他 学校行事などの運営(運動会・球技大会・研修旅行(海外・国内))						
ホームページ	URL: http://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/school/nanba/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ①卒業生の主な就業先であるホテル・ブライダル企業・ネイルサロン・エステサロン・美容室等と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②ブライダル分野ならびにビューティー分野における学修の中心となるブライダル知識、ネイル業界、エステティックの知識、そのたビジネススキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

②意思決定の過程について

(ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。

(イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。

(ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。

(エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中本 毎彦	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 校長	—	
山本 省二	大原学園 関西圏 就職本部	—	
宮路 信美	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 副校長	—	
藤川 宏明	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 教務部 部長	—	
藤井 智香	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 ブライダルビューティー課 課長	—	
江口 美貴	一般社団法人 全日本ブライダル協会 理事	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	①
信下 かね子	株式会社 メルシー 専務取締役	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	③
杉岡 やす子	日本エステティック協会 職業実践委員	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	①
中林 サチ	株式会社キュアネ 代表取締役	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催する。

第1回:「前年度教育成果の振り返り」

(今年度は、平成28年5月13日に実施)

第2回:「今年度の課題整理と次年度以降教育内容の見直し」

(今年度は平成28年7月15日に実施)

(開催日時)

(開催日時)

第1回 平成28年5月13日 16:00～17:00

第2回 平成28年7月15日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①第1回目の委員会においては、教育課程編成の改善案を大テーマとして、27年度に行われた改善について報告すると同時に、意見交換を行った。特に、接客指導に関して、コミュニケーション力の重要性の再確認や、社会人に近い経験を早期に持つ重要性、早い段階で本物に触れる重要性を再度アドバイスいただいた。

第2回目の委員会においては、次年度のカリキュラムをより良くするために、企業側での現場に出る前の研修内容や、インターンシップについてのアドバイスをいただいた。次年度には現場でのインターンシップの増加やサロンワークの増加という形で活用を行っていく予定である。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

①ブライダル分野における実習・演習は、インターンシップや現場での実習やその前後の指導を通じて、現場レベルのウェディングスタッフとしてのスキル構築を行う。

②ビューティー分野における実習・演習では業界のプロによるサロンワークなどを含めた実技指導を行う。

②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。

③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

ウェディングならびに、ビューティー分野の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。

① 実習授業内容構築へのサポートならびに直接指導。

② 当該実習授業における評価ポイントの確認。

③ 授業方法に関する教員への指導。

④ 学生の学修習熟状況の評価。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
総合演習Ⅱ	職種の業務内容の理解をしたうえで、現場に通用する応対力を身につけることを目的とする。	株式会社ヴルーメン
ブライダルサービス概論Ⅱ	接客・サービスマナーを身に付けることを目的とする。職種に応じた対応ケースについて、連携企業のプロによる指導やそれに基づいたトレーニングを行う。	株式会社ベストブライダル セントアクアチャペル梅田
接客対応マナー	コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。ブライダルスタッフの業務知識と実務の現状を理解し、連携企業のプロによる指導やそれに基づいた実践的なトレーニング	株式会社ベストブライダル セントアクアチャペル梅田
イメージプランニング	卒業研究に備え、テーマやモデルの状況に合ったデザイン・施術の提案ができるようになることを目的とする。	奥田 利子・渡部 恵子
総合演習Ⅲ(卒業研究)	実務に即したスキルと身に付けることを目的とする。総合演習Ⅳ(卒業研究)の成功に向け、プロの指導や演習を重ね、オリジナルプランを作成していく。	奥田 利子・株式会社ベストブライダル セントアクアチャペル梅田
総合演習Ⅳ(卒業研究)	現場で即戦力となるためのスキルを身に付けることを目的とする。連携企業のプロによる指導や、それに基づいたトレーニングを実施する。実習においては、卒業研究発表で	奥田 利子・株式会社ベストブライダル セントアクアチャペル梅田

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用した自己啓発
- ④業界団体の開催する研修会への参加

(2) 研修等の実績

- ①専攻分野における実務に関する研修等
- ①(株)ヴルーメン ブーケならびにウェディングフラワーに関する基礎知識向上研修・・・9月～11月
- ②(株)ベストブライダル様会場の視察やウェディング業界に関する情報収集研修・・・2月
- ③日本エステティック協会 提携企業H2Oによる業界情報収集研修・・・9月
- ②指導力の修得・向上のための研修等
- ①(株)キュアネ によるネイル業界に関する情報収集、教材に関する指導・・・12月
- ②社団法人 BIAIによる ブライダル検定に関する指導・・・2月

(3) 研修等の計画

- ①専攻分野における実務に関する研修等
- ①関西ブライダル懇話会によるウェディング業界による情報収集研修・・・4月
- ②(株)ヴルーメン ブーケならびにウェディングフラワーに関する基礎知識向上研修・・・9月～11月
- ③(株)メルシー 信下様による、ウェディング業界に関する基礎研修・・・9月
- ④(株)ベストブライダル会場の視察やウェディング業界に関する情報収集研修・・・2月
- ②指導力の修得・向上のための研修等
- ①大阪専門学校各種連合会による指導力向上研修への参加・・・11月
- ②(株)キュアネ によるネイル業界に関する情報収集、教材に関する指導・・・12月

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(2) 学校運営	①運営方針は定められているか。
(3) 教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人
(4) 学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら
(5) 学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。
(6) 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。
(8) 財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。
(9) 法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生の社会適応能力について多くの意見を頂いた。コミュニケーション能力、組織への適応について、日々の学生指導においてこれまで以上に強く意識していくことを確認した。クラスでの担任の指導はもちろんのこと、全員参加の各種学校行事やクラブ活動を通じて、縦軸横軸の双方から社会適応能力を高める環境を積極的に提供していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
江口 美貴	株式会社 ヴルーメン 代表取締役 会長	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員

信下 かね子	株式会社 メルシー 専務取締役	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員
中林 サチ	株式会社キュアネ 代表取締役	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員
守屋 富美子	スイスホテル大阪南海株式会社 人事部シニアマネージャー	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員
向吉 正実	東武トップツアーズ株式会社 関西支社 大阪法人事業部第2営業部 副部長	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員
中山 貴弘	株式会社TEI 大阪支店 グループ長	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	企業等委員
中本 每彦	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 校長	—	校長
山本 省二	大原学園 関西圏 就職本部	—	事務局員
宮路 信美	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 副校長	—	事務局員
藤川 宏明	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 教務部 部長	—	事務局員
藤井 智香	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 ブライダルビューティー課 課長	—	事務局員
岩城 好高	大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校 旅行・エアライン課 課長	—	事務局員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL:
<http://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

① 実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。

② また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2) 各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③カリキュラム
(3) 教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6) 学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8) 学校の財務	学園の財務状況公開
(9) 学校評価	学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生の募集
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:

<http://www.o-hara.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程総合ビジネス学科) 平成28年度															
分類			入力用授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			漢字	日常的に利用する漢字能力を身に付けることを目的とする。ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ。	1・2通	80			○		○		○		
○			ビジネス基礎Ⅰ	就職活動に伴う自己分析や業界・企業・職種研究の必要性を理解し、自己PRや志望動機など具体的な書類記載内容・面接受け答え内容のベースをつくることを目的とする。	1②	40		○	△		○		○		
○			ビジネス基礎Ⅱ	自己分析や業界・企業・職種研究を基に、履歴書やエントリーシートの作成ができるようになることを目的とする。繰り返しのトレーニングにより、最終的な自己PRや志望動機を完成させる。	1③	40			○		○		○		
○			ビジネス応用Ⅰ	自己分析や志望動機などをはじめとし、基本的な面接質問事項に対する受け答えを方法を身に付けることを目的とし、実践的にトレーニングを行う。	2①	40			○		○		○		
○			ビジネス応用Ⅱ	面接試験に通用するレベルの応対力を習得することを目的とする。繰り返しの模擬面接により、トレーニングを行い、面接力の向上を図る。	2①	40				○	○		○		
○			パソコン実習基礎	PC操作の基本である、ワードの基本操作を身に付けることを目的とする。校内のPCを利用し、操作方法のレクチャーおよび実践的なトレーニングを実施する。	1③	40		○	△		○		○		
○			パソコン実習応用Ⅰ	PC操作の基本である、エクセルの基本操作を身に付けることを目的とする。校内のPCを利用し、操作方法のレクチャーおよび実践的なトレーニングを実施する。	1③	40		○	△		○		○		
○			パソコン実習応用Ⅱ	オフィスの各種ソフトを活用するスキルを身に付けることを目的とする。校内のPCを利用し、実践的なトレーニングを実施する。	2①	40		△	○		○		○		
○			ブライダル理論基礎	挙式および披露宴を中心とする婚礼商品に関連して提供される、一連のブライダルサービスについて、ブライダルに関わるスタッフとして知っておくべき基本的な知識を身に付けることを目的とする。	1・2通	110		○		△	○		○		
○			海外ブライダル研究	海外のブライダル事情について理解することを目的とする。	1②	10				○	○		○		
○			カラーコーディネート基礎知識	色彩検定3級程度の知識を身に付けることを目標とする。色彩の知識はもちろん、商品やデザインへの応用方法なども学ぶ。	1①	40		○			○		○		
○			サービス接遇Ⅰ	接客対応の様々な状況を理解した対応能力を身に付けることを目的とする。各状況に合った対応方法、注意点などを学ぶ。	1②	40		○			○		○		

○		サービス遭遇Ⅱ	接客応対で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。 ケース別の実践的なロールプレイングを取り入れ、トレーニングを行う。	2 ①	40				○	○	○		
○		メイク実習	クレンジングからメイクアップまでの一連の流れについての技術を身に付ける。実践的にトレーニングを行うことにより、資格取得に向けた技術力向上を目的とする。	1・2 通	80		△		○	○		○	
○		ネイル実習	ケアからカラーリング、アートに至るまでの一連の流れについての技術を習得する。実践的にトレーニングを行うことにより、資格取得に向けた技術力向上を目的とする。	1・2 通	80		△		○	○		○	
○		ホスピタリティ	サービス業界への就職を目標にするにあたり、ホスピタリティの基本的な概念、おもてなしの意味、意義を理解することを目的とする。	1 ①	40		○		○		○		
○		サービス業務	ホスピタリティの概念、おもてなしの意	1 ①	40		○	△		○		○	
○		時事対策	現代社会における主要な時事に関する知識習得を目的とする。キーワード(朝日新聞DIGITAL掲載)を中心とした時事に関する解説を行い、学生が周辺知識を調べより理解	1 ③	40		○			○		○	
○		オフィスWORD	ビジネス文書作成などより実務に役立つ能力を身に付ける。WORDを活用し、資格取得に向けた実技能力向上を目的とする。	1 ③	40				○	○		○	
○		オフィスEXCEL	ビジネス文書作成などより実務に役立つ能力を身に付ける。EXCELを活用し、資格取得に向けた実技能力向上を目的とする。	2 ①	40				○	○		○	
○		英会話	業界で必要とされる最低限の英語力を身に付けることを目的とする。様々なシチュエーションごとの英語での対応方法を、ロールプレイングを交えながら学習する。	1・2 通	80		○		△	○		○	
○		マーケティング	マーケティングに関する基礎知識の習得を目的とする。 自社商品やサービスの販売に必要なマーケティング理論を学ぶ。	1 ③	40		○			○		○	
○		ビジネスマナー	社会人として必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。 電話対応、接客、接客などの基本ルールのレクチャーおよびトレーニングを行う。	2 ②	30		○		△	○		○	
○		総合演習Ⅸ(持)	社会人として必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。 ケース別の実践的なロールプレイングを行い、より実践的なトレーニングを行う。	2 ②	10		△		○	○		○	
○		マーケティング	ブライダル・ビューティー市場におけるマーケティングを行うことができるスキルを習得することを目的とする。業界における具体的な事例をマーケティングの観点から分析するトレーニングを行う。	2 ②	40		○		△	○		○	
○		マナー接客基	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。就職活動で必要とされる立ち居振る舞いを中心にトレーニングを行	1 ③	40		○		△	○		○	
○		マナー接客応	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。就職活動で必要とされる立ち居振る舞いを中心に実践的なトレーニング	2 ①	40		△		○	○		○	
○		総合演習Ⅰ	ブライダル・ビューティー業界の職種の業務内容を理解し、基本的な応対力を身に付けることを目的とする。	1 ①	40		△	○		○		○	
○		総合演習Ⅱ	ブライダル・ビューティー業界の職種の業務内容を理解したうえで、現場で通用する応対力を身に付けることを目的とする。連携企業のプロによる指導や、それに基づいたトレーニングを行う。	1 ② ③	40		△	○		○		○	○

○		総合演習Ⅲ(本)	ブライダル・ビューティー関連業務について、実務に即したスキルと身に付けることを目的とする。連携企業のプロによる指導や、それに基づいたトレーニングを行う。	2 ②	40		△		○	○	○	○
○		総合演習Ⅳ(本)	ブライダル・ビューティー関連業務について、現場で即戦力となるためのスキルを身に付けることを目的とする。連携企業のプロによる指導や、それに基づいたトレーニングを行う。	2 ③	80		△		○	○	○	○
	○	ホテル理論基礎	ブライダル業界とホテルの関連性を理解すると共に、ホテルそのものにおける業務についても学習する。	1 ①	30		○			○	○	
	○	ホテル理論応用	ブライダル業界の中心的存在であるホテルにおけるブライダルサービスの意義について、理解することを目的とする。	1 ③	20		○			○	○	
	○	料飲サービス概論	ホテルでのブライダルサービスの中でも、料飲サービスに重点を置き学習する。食事・飲み物の種類などをはじめ、サービスの仕方についても知識を習得する。	1 ②	30		○			○	○	
	○	ファイナンシャルプランニング基礎Ⅰ	ライフプランやパーソナルファイナンスの基本的な事項について学習し、社会に出た際に少しでも役立つ知識を身に付けることを目的とする。	1 ③	40		○			○	○	
	○	ファイナンシャルプランニング基礎Ⅱ	ライフプランやパーソナルファイナンスの基本的な事項について学習し、社会に出た際に少しでも役立つ知識を身に付けることを目的とする。	2 ①	40		○			○	○	
	○	フラワー実践研究	ブーケ実習の事前・事後研究を行う。お花とブライダルの関わりやお花の知識を習得することにより、ブーケ実習での技術習得の向上を図る。	1 ② ③	40			○	△	○	○	○
	○	ブライダルパーティー実践	披露宴の際のスタッフの動きを身に付けることを目的とする。披露宴の一連の流れに沿って、各担当の動きを確認しながら、実践的にトレーニングを行う。	2 ①	40		△		○	○	○	
	○	ブライダルセレモニー実践	挙式の際のスタッフの動きを身に付けることを目的とする。挙式の一連の流れに沿って、各担当の動きを確認しながら、実践的にトレーニングを行う。	2 ①	40		△		○	○	○	
	○	ブライダルプランニング演習	実際に挙式・披露宴のプランニングおよび実践ができるようになることを目的とする。様々な設定を課題として与え、繰り返しのトレーニングを行う。	2 ①	40		△	○		○	○	
	○	ブライダルサービス概論	ブライダルの現場に特化した、接客・サービスマナー知識を身に付けることを目的とする。職種に応じた対応ケースを学習する。	1 ①	40		○	△		○	○	
	○	ブライダルサービス概論Ⅱ	ブライダルの現場に特化した、接客・サービスマナーを身に付けることを目的とする。職種に応じた対応ケースについて、連携企業のプロによる指導やそれに基づいたトレーニングを行う。	2 通	40		△		○	○	○	○
	○	ブライダルコミュニケーション	ブライダルの現場に特化した、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。ブライダルスタッフの業務知識と実務の現状、接客対応の知識・方法を学ぶ。	1 ①	80		○	△		○	○	
	○	接客対応マナー	ブライダルの現場に特化した、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。ブライダルスタッフの業務知識と実務の現状を理解し、連携企業のプロによる指導やそれに基づいた実践的なトレーニングを行う。	2 通	40		△		○	○	○	○
	○	ブライダル理論	挙式および披露宴を中心とする婚礼商品に関連して提供される、一連のブライダルサービスについて、ブライダルの現場で即戦力となるような、より詳細な知識を身に付けることを目的とする。	2 ② ③	40		○			○	○	

○	フットケア	足のむくみや疲れを取る、フットケア（リフレクソロジー）の技術を習得することを目的とし、実技を中心とした実践的なトレーニングを行う。	1 ①	40				○	○										
○	アロマテラピー基礎(理論)	芳香成分の特性・効用を理解し、心身にどのように作用するかを学ぶ。実習を通して実践的な方法を身に付けるための、基礎知識をつけることを目的とする。	1 ①	40			○	△		○									○
○	アロマテラピー応用(実践)	基礎で学んだ理論を基に、実際にお客様が求める効用に合った芳香成分を選択し、特性・効果の説明ができるようになることを目的とする。実践的なトレーニングで知識	1 ②	40					○	○									○
○	フェイシャルエステ	フェイシャルエステに関する基礎知識の習得を目的とする。手技の習得をよりスムーズにするベースを整えるため、実践も交えながら学習する。	1 ①	40			○		△	○									○
○	サロンワーク実	サロンでの業務に必要なスキルを習得することを目的とする。接客・カウンセリング・アフターケアなどの一連の流れについて、反復の実践トレーニングを行う。	2 ②	40					△	○	○								○
○	メイクカウンセ	スキンケアに関するカウンセリングが行える知識の習得を目的とする。肌状態別のケア方法や化粧品の選別について、実践を交えながら学習する。	1 ②	20			○		△	○									○
○	ネイルカウンセ	ネイルケアに関するカウンセリングが行える知識の習得を目的とする。爪の状態別のケア方法について、実践を交えながら学習	1 ②	20			○		△	○									○
○	イメージプラン	卒業研究に備え、テーマやモデルの状況に合ったデザイン・施術の提案ができるようになることを目的とする。連携企業のプロによる指導や、それに基づいたトレーニン	2 ②	80				△		○	○								○
○	フェイシャルエ	フェイシャルエステについての様々な手技を習得することを目的とする。お客様の肌状態に合わせた化粧品選択、施術選択ができるようになるために、実践的にトレーニ	1 ②	40						○	○								○
○	ボディエステ実	ボディエステについての基本的な手技を習得することを目的とする。反復トレーニングを行い、確実に技術を身に付ける。	1 ③	40						○	○								○
○	ボディエステ実	お客様の状態に合わせた化粧品選択、施術選択ができるようになることを目的とする。カウンセリングも含め、実践的にトレーニングを行う。	2 ①	80						○	○								○
○	ボディエステ理	ボディエステに関する基礎知識の習得を目的とする。手技の習得をよりスムーズにするベースを整えるため、実践も交えながら学習する。	1 ・ 2 通	##			○		△	○									○
○	サロン経営理	サロンの経営に関する知識の習得を目的とする。経営管理・衛生管理、スタッフマネジメント等に関する内容を学習する。	2 ②	40			○		△	○									○
○	ブライダル実務	ブライダル業界の様々な業務内容について理解をした上で、業務内容の実践トレーニングを行う。接客・プランニング・パッケージプランの計算等、実務に即した授業	2 通	40			○	△		○									○
○	ビューティーメ	スキンケアはもちろん、ポイントメイク等も学習する。理論を理解し、その理論に合わせて実践的なトレーニングを行う。	1 通	40				△		○	○								○
○	ネイルケア概	ネイルのカラーリングやネイルアート等の様々な手技を身に付けることを目的とし、実践的なトレーニングを行う。	1 通	40				△		○	○								○
○	エステティック	フェイシャルおよびボディの様々な手技を身に付けることを目的とし、実践的なトレーニングを行う。	1 通	40				△		○	○								○
合計			63科目			2,000単位時間(単位)													
卒業要件及び履修方法										授業期間等									

<small>(試験)</small> 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によってこれを定める。ただし、 授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。 2. 試験には定期試験、追試験及び再試験等がある。追試験は、 <small>やむを得ず</small>	1 学年の学期区分	3 期
	1 学期の授業期間	14 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。